

令和3年度宮城教育大学附属中学校3年生の皆様、いよいよ御卒業ですね。そして今日は、同窓会ご入会おめでとうございます。例年であれば、同窓会役員出席のもと、入会式を行うところですが、新型コロナウイルス感染症対策の為、書面での御挨拶となりましたこと、お許をいただきます。

さて、我が附属中学同窓会会員は母校附属中学校で学び得た事に、歳を重ねる毎に誇りを感じ、また日々力を頂いております。それは、圧倒的多勢の同窓生が、世界に活躍の場を広げ、社会の為に活躍されている事、そして、何よりも、東北における中等教育の雄としての素晴らしい教育環境で多感な中学時代を附属中学校で過ごす事が出来、その中で多勢の良き友を得る事が出来た事がその礎となっています。

仏教の教えに、「良き友を得るは道の全てなり」という言葉があります。宮城教育大学附属中学校同窓会は正に「良き友の集団」であります。

今日、私達人類は大変な試練を受けています。地球・自然環境の悪化、そして、新型コロナウイルスによる世界規模のパンデミック、私たちは、改めて、個人と社会の関係について学ばされているのではないのでしょうか。個人の幸せは、社会の安寧なくしては得られない事を突き付けられたと心得るべき大自然からの人類に対する貴重なメッセージとも私は受け止めております。

このような困難に対し、我が同窓会からは下記の言葉を贈りたいと思います。

*One for all, All for one*

附属中学校同窓会新入会員の皆様のご活躍とお幸せを心より祈念して、ご挨拶と致します。

令和4年2月吉日

宮城教育大学附属中学校同窓会

会 長 鈴木 繁雄